

## 保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	刃物砥ぎグラインダー EDG-220BS		お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1 年
お客様	住所	〒		
	ご芳名			
	電話	( )		
販売店	住所			
	店名	☎ ( )		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。  
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。  
(ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。  
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。  
(ニ) 本書の提示がない場合。  
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元

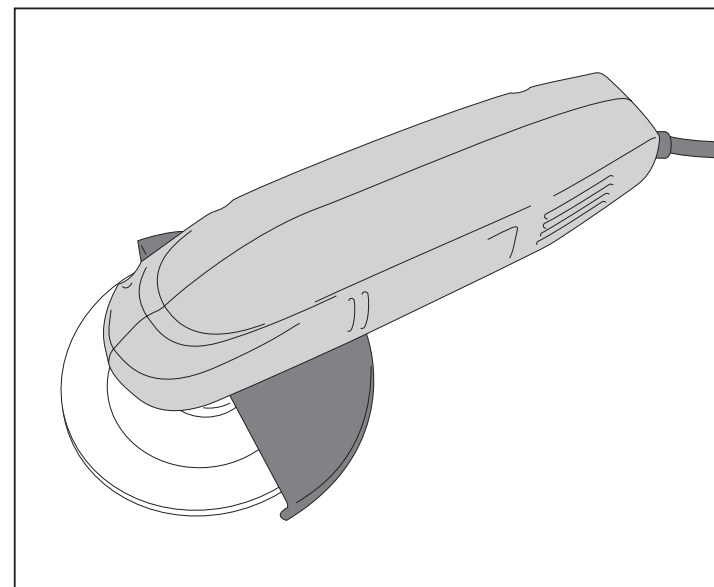
 藤原産業株式会社

情報サービスセンター	〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160
近畿支店	〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8210(代) Fax.0794-83-5160
中部支店	〒473-0902 愛知県豊田市長林町17丁目7-16	Tel.0565-25-2227(代) Fax.0565-25-2239
九州支店	〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220	Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308
鹿児島営業所	〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号	Tel.099-285-1748(代)
広島営業所	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11	Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311
東京支店	〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9	Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191
熊谷営業所	〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1	Tel.048-577-3292(代) Fax.048-577-3275
札幌営業所	〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号	Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529
仙台営業所	〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1	Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766
神奈川営業所	〒243-0206 神奈川県厚木市下川入867-1 アロドリーム1階	Tel.046-265-0365(代) Fax.046-265-0022
金沢営業所	〒921-8066 石川県金沢市矢木三丁目256	Tel.076-240-3630(代) Fax.076-240-3515

E-Value

# 刃物砥ぎグラインダー EDG-220BS

## 取扱説明書



このたびはE-Value刃物砥ぎグラインダーEDG-220BSをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。安全に正しくご使用いただくために、本取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。また、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

\*外観及び仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

## 目次

<b>1. 安全上のご注意</b>	<b>P2~8</b>
安全確保のために	P2
電動工具を安全にお使いいただくために	P3~6
刃物砥ぎグラインダーを安全にお使いいただくために	P6~8
<b>2. 仕様・各部名称・用途</b>	<b>P9~12</b>
仕様	P9
各部の名称と標準付属品	P9
用途	P10
ご使用前の点検事項	P10~12
<b>3. 使い方</b>	<b>P13~16</b>
砥石の取り付け方・取り外し方	P13
ダイヤモンドホイールの取り付け方・取り外し方	P14
スイッチの操作方法	P15
研磨方法	P15~16
<b>4. 保守・点検</b>	<b>P16~17</b>
<b>5. 困ったときは</b>	<b>P17</b>
故障かな?と思ったら	P17
分解図・部品表	P18


## 1. 安全上のご注意

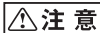
### 安全確保のために

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになったら後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

### 警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

⑤ この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

### 絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

## 電動工具を安全にご使用いただくために

### 警告

#### ■ 作業場の環境について

- ⚠ 作業場はいつもきれいに保ってください。  
・ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。

- 🚫 子供を近づけないでください。  
・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。  
・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

- 🚫 作業場の周囲状況も考慮してください。  
・電動工具は、雨中で使用したり湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。  
・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

#### ■ 電気に関する安全事項

- ⚠ 感電に注意してください。  
・電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

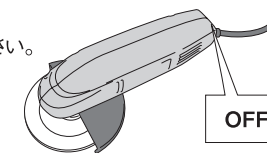
- 🚫 コードを乱暴に扱わないでください。  
・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。  
・コードを熱、油、角のところがったところに近づけないでください。

- ⚠ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。  
・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

- ⚠ 騒音防止規制について  
・騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

#### ■ 個人的な警告事項

- ⚠ 不用意な始動は避けてください。  
・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。  
・電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。



- 🚫 きちんとした服装で作業してください。  
・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。  
⚠ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。  
・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

- ⚠ 無理して使用しないでください。  
・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

- 🚫 作業にあった充電工具を使用してください。  
・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業に使用しないでください。  
指定された用途以外に使用しないでください。

- 🚫 油断しないで十分注意して作業を行ってください。  
・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。  
・常識をはたらかせてください。  
・疲れている場合は、使用しないでください。

- ⚠ 保護メガネを着用してください。  
・作業時は、保護メガネを使用してください。また粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。



- ⚠ 集塵装置が接続できるものは接続してください。  
・電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続し、正しく使用してください。

- 🚫 無理な姿勢で作業をしないでください。  
・常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

- ❗ **防音保護具を着用してください。**  
・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。



- ❗ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**  
・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。

- ❗ **材料を加工する工具では、加工する材料をしっかり固定してください。**  
・加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(加工する材料を動かす製品は除く)

- ❗ **調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。**  
・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

## ■ 工具の使用と手入れ

- ❗ **損傷した部品がないか点検してください。**  
・使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 🔍 **よく読む**  
・可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ❗ **破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。**  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 🚫 **禁止**  
・スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
・スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

- ❗ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**  
・使用しない、または修理する場合。
- 🔧 **先端アタッチメント(砥石など)を交換する場合。**
- ・その他危険が予想される場合。



- ❗ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**  
・安全に能率よく作業していただくために、先端アタッチメントは常に手入れをし、よく研磨できる状態を保ってください。
- 🔍 **よく読む**  
・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 🔍 **よく読む**  
・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ってください。

## ■ 修理とメンテナンス

- 🚫 **禁止**  
正しい付属品やアタッチメントを使用してください。  
・取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

- 🚫 **分解禁止**  
電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。  
・この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。  
・修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- ❗ **修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。**

## 刃物砥ぎグラインダーを安全にご使用いただくために

- 先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、刃物砥ぎグラインダーをご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。

### ⚠️ 警告

#### ■ 使用電源に関して

- ❗ **使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。**  
・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。

#### ■ ホイールカバーに関して

- ❗ **ホイールカバーは、必ず取り付けて使用してください。**  
・砥石やダイヤモンドホイールが破壊したとき、ケガの原因になります。

#### ■ 砥石に関して

- 🚫 **禁止**  
最高許容周速度が 72m/s、4,300m/min、または回転速度 13,000min<sup>-1</sup>を下まわる砥石を使用しないでください。  
・破損、事故の原因になります。

## ■ 研磨作業に関して

- 使用中は、回転部などに手や顔を近づけないでください。  
・けがの原因となります。

- 使用中は、機体をしっかりと保持してください。特に始動時は気をつけてください。  
・しっかりと保持していないと、けがの原因となります。

- 本機の定格使用時間は30分です。それ以上の連続負荷作業はしないでください。

- 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。  
・砥石などが破壊したとき、ケガの原因になります。

- 本機が熱を持った場合は、無負荷運転を2分程度行った後、機体の温度が十分に下がるまで休ませてください。

- 回転させたままの状態、台や床の上に放置しないでください。  
・けがの原因となります。

- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または製造会社に点検・修理を依頼してください。  
・そのまま使用していると、ケガの原因となります。

- 研削粉は火花となって飛散しますので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。  
・火災ややけどの原因となります。

- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、砥石や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
・破損や亀裂、変形があるとケガの原因となります。

- 水や研削液などは絶対にしないでください。  
・本機は乾式用です。砥石の破壊や感電などの事故の原因となります。

## ⚠ 注意

- 工具類(砥石など)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。  
・確実にしないと、はずれたりし、ケガの原因となります。

- 新しい砥石を取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。  
・砥石が破損したとき、ケガの原因となります。

- 指定以外の刃物(マルノコ刃、チップソー、切断砥石など)での切断作業はしないでください。  
・丸鋸としての保護装置はなく、ケガの原因となります。

- 試運転を励行してください。  
・試運転時間は砥石交換のときは3分間以上、その日の作業始めのときは1分間以上です。  
・試運転せずに作業を開始しますと、思わぬケガの原因となります。

- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけて機体を落としたりしないように注意してください。  
・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因となります。

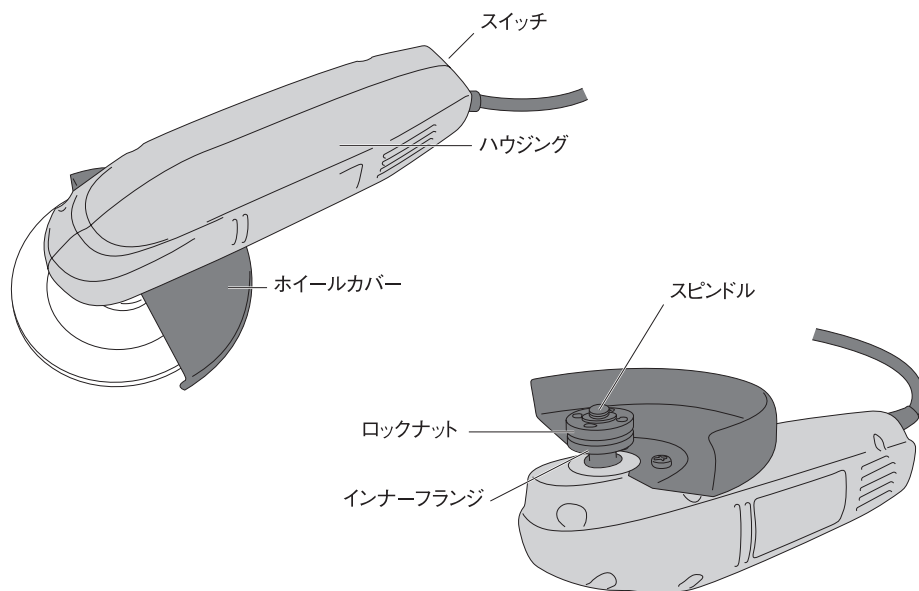
- 延長コードは損傷のないものを用意してください。  
・延長コードをご使用の際はできるだけ短く(30m以内)、また本体取り付けの電源コードより太い工具用キャブタイヤコードをご使用ください。  
・ドラム式の延長コードをご使用の際は、巻いた状態のまま使われますと熱を持ちますのでコードを全部引き出してご使用ください。

## 2. 仕様・各部名称・用途

### 仕様

型式	EDG-220BS	使用砥石径	φ100mm
使用電源	単相交流100V	スピンドル径	M10 × 1.5
定格周波数	50/60Hz	砥石取り付け穴径	φ15mm
電流	2.3A	コード長さ	約1.9m
消費電力	220W	定格使用時間	30分
無負荷回転数	no 7000min <sup>-1</sup>	絶縁方式	二重絶縁 □
本体質量	約0.95kg		

### 各部の名称および標準付属品



#### 標準付属品

- ・ホイールカバー(本体装着済み)
- ・スパナレンチ
- ・ロックナットレンチ
- ・ダイヤモンドホイール(刃物砥ぎ用)

### 用途

適切な先端工具を使用することで、以下の用途に使用できます。

- ◆ 家庭用刃物や園芸用品の刃先研磨
- ◆ 農機具・機械の刃先研磨
- ◆ 刈払刃・チップソーなど刈払機用刃物の研磨

注意:

この商品は刃物砥ぎ専用のグラインダーです。切断作業や刃物砥ぎ以外の研削作業をされますと故障する恐れがありますので、おやめください。

### 先端工具と用途

#### 刃砥ぎ用砥石

刈払刃の刃先の研磨に用います。

#### ダイヤモンドホイール

チップソーの刃先の研磨に用います。

### ご使用前の点検事項

#### 警告



ご使用前に次のことを確認してください。

- ・以下1～4項については、電源プラグをコンセントに差し込む前に確認してください。

#### 1. 電源を確かめてください。



必ず機体に添付の銘板に表示している電源でご使用ください。

表示を超える電圧で使用されますとモーターの回転数が異常に高速となり、砥石や機体が破壊する恐れがあります。



直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく事故の原因になります。

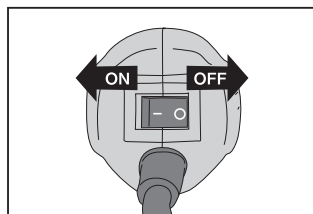
## 2.スイッチが切れていることを確認してください。

### 警告



スイッチが入っているの知らずに電源プラグをコンセントに差し込みますと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

スイッチは本機後方部のスイッチレバーを(－)側に押すと入り、(○)側に押すと切れます。スイッチレバーがOFFになっていることを必ず確認してください。



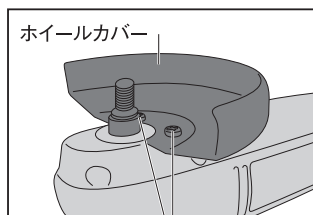
## 3.ホイールカバーの確認

### 警告



ホイールカバーは砥石などが破壊した場合に使用者を保護するためのものですから、必ず取り付けてください。

・カバーの取り付けネジが確実に締まっていることを確認してください。



取り付けネジのご確認をお願いします。

## 4.ホイールカバーの確認

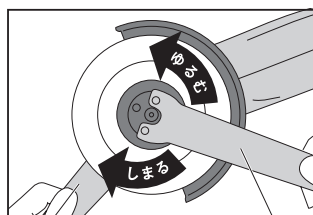
### 警告



砥石は正規のものか、またヒビや割れがないか十分にお調べください。

砥石は正しく取り付けられ、十分締め付けられているか点検してください。

・砥石の取り付けに関しましては、13ページ以降の「砥石の取り付け・取り外し」の項をご参照ください。



スパナ                      ロックナットレンチ

## 5.電源コンセントの確認



本機の電源プラグをコンセントに差し込んだとき、コンセントにガタつきがあったり電源プラグがすぐに抜けてしまうようでしたら修理が必要です。  
・お近くの電気工事店などにご相談ください。  
・そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因となります。

## 6.試運転を行う

### 注意

- 機体のスイッチを入れる時は、機体の回転部分が研磨対象物に接触していないことを確認してください。
  - ・新しい先端アタッチメントを取り付けて、はじめてスイッチを入れるときは、アタッチメントの露出部分から必ず一時身体を避けてください。
- 先端アタッチメントにヒビ・割れなどの破損があるのを気づかず作業をされますと非常に危険です。ケガの原因になります。
- 作業前には人のいない方向に機体の先端部を向けて、必ず試運転を行って異常がないことをご確認ください。  
[ 試運転の時間 ] 先端アタッチメント交換時→3分以上  
その日の作業始め時→1分以上

### 3. 使い方

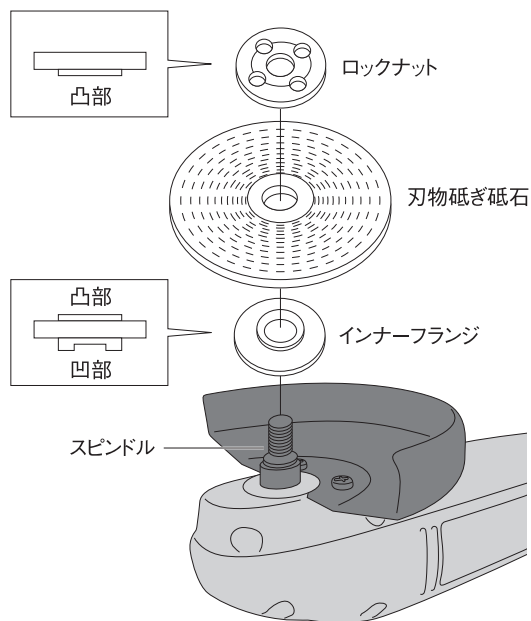
#### 砥石の取り付け方・取り外し方

##### ⚠ 警告

- ❗ 先端工具の取り付け・取り外しの際は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグをコンセントにつないだまま行きますと事故の原因になります。

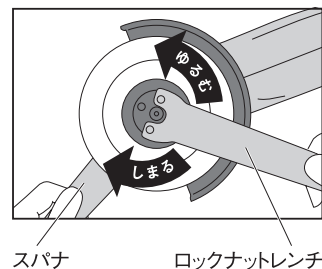
#### 取り付け方

- (1) スピンドルを上に向けて、インナーフランジの凹部をスピンドルの切欠部に合わせてはめ込んでください。
- (2) 砥石の凹部を上にして内径をインナーフランジの凸部にはめ込んでください。
- (3) ロックナットの凸部を砥石側にしてスピンドルにねじ込んでください。
- (4) スピンドルの切欠部にスパナをはめてスピンドルが回転しないように固定し、ロックナットをロックナットレンチで時計方向に回してしっかりと締付けてください。



#### 取り外し方

上記の取り付けかたと逆の要領で行ってください。



#### ダイヤモンドホイールの取り付け方・取り外し方

##### ⚠ 警告

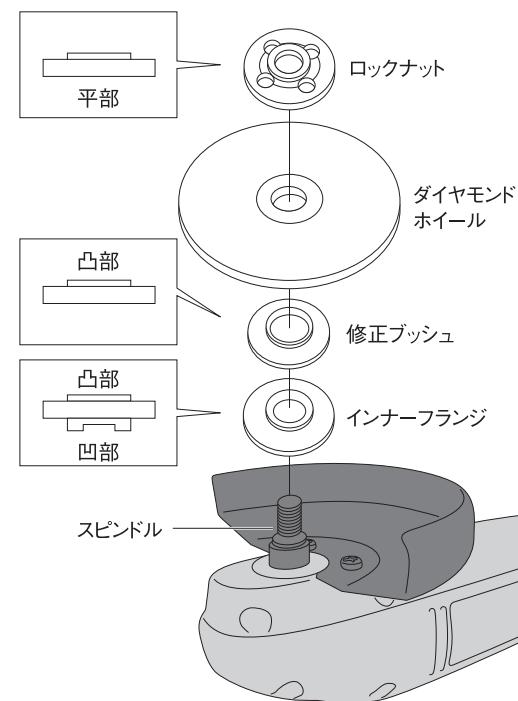
- ❗ 先端工具の取り付け・取り外しの際は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグをコンセントにつないだまま行きますと事故の原因になります。

##### ⚠ 注意

砥石とダイヤモンドホイールとは取り付け方法が異なります。  
ダイヤモンドホイールは以下の方法でなければ固定できません。

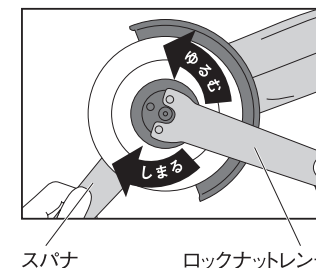
#### 取り付け方

- (1) スピンドルを上に向けて、インナーフランジの凹部をスピンドルの切欠部に合わせてはめ込んでください。
- (2) ダイヤモンドホイールに付属の修正ブッシュをインナーフランジの凸部にはめ込んでください。修正ブッシュの凸部を上に向けて取り付けてください。
- (3) ダイヤモンドホイールの内径を修正ブッシュの凸部にはめ込んでください。
- (4) ロックナットの平面部をダイヤモンドホイール側にしてスピンドルにねじ込んでください。
- (5) スピンドルの切欠部にスパナをはめてスピンドルが回転しないように固定し、ロックナットをロックナットレンチで時計方向に回してしっかりと締付けてください。



#### 取り外し方

上記の取り付けかたと逆の要領で行ってください。





## スイッチの操作方法

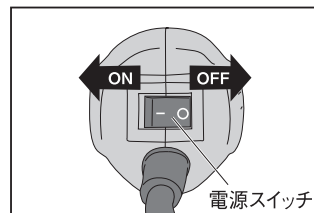
### ⚠ 警告

- 点検・確認
- 電源プラグを差し込む前に、必ずスイッチがOFFの状態になっていることを確認してください。
  - スイッチがONの状態のまま、電源プラグを差し込みますと機体が急に動きだし事故の原因になります。

スイッチは本機後部部のスイッチレバーを（-）側に押すと入り、（○）側に押すと切れます。

### ⚠ 注意

始動時の回転力によって振り回されないよう、しっかりと機体を保持してください。



## 研磨方法

### ⚠ 警告

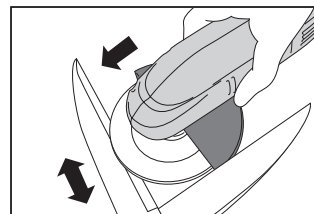
- 点検・確認
- 作業中は必ず保護メガネを着用してください。確認してください。
  - 機体に衝撃を与えまずと先端工具にヒビが入ったり、破損、変形する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
  - 万が一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは、必ず先端工具の破損や変形の有無を十分に確認してください。
  - ホイールカバーは必ず取り付けて作業を行ってください。
  - 水や研削液などは絶対に使用しないでください。

(1) 研磨対象物に接触していないことを確認して、スイッチを入れてください。

(2) モーターの回転が十分に上がってから、ゆっくりと静かに加工する位置に工具の回転部分を当ててください。

### ⚠ 注意

- あまり強い力で押し当てると、回転数が低下して効率が下がります。
- また過負荷によるモーター焼損の原因になります。
- 仕上げ面がきたなくなり、きれいに仕上がりにません。



### ⚠ 注意

- 対象物の加工面と機体が平行になるように注意してください。
- 一箇所にとどまらないで、加工面の形状に合わせて常に機体を一定の速度で動かしながら研磨してください。

### ⚠ 注意

- !
- 作業が終わりましたらスイッチを切り、先端工具の回転が完全に止まってから機体をおいてください。
  - 回転が完全に止まらないうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがあります。製品の寿命短縮、事故の原因になりますのでご注意ください。

## 4. 保守・点検

### ⚠ 警告

- !
- 保守、点検の際は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - けがや事故の原因になります。

#### ● 使用後の手入れ

油污れなどを丁寧に拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。

乾いた布か石鹸水をつけた布で本体を拭いてください。

#### ● 取り付けネジの点検

各部取り付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。

もしゆるんでいるところがありましたら、締めなおしてください。

#### ● カーボンブラシの点検・交換

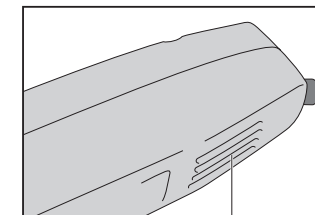
モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

総作業時間約50時間程度になりましたら、一度お買い上げの販売点に点検を依頼してください。

#### ● モーター部の取り扱いについて

モーター部の巻線部分は本機の心臓部です。巻線部分に傷をつけたり、洗油や水をつけたらしないよう十分注意してください。

モーター内部にゴミやほこりが溜まりますと、故障の原因になります。総作業時間約20時間程度になりましたら、モーターを無負荷で回転させて湿気のない空気を本体後部部の風穴から吹き込ませて清掃してください。ゴミやほこりの排出に効果があります。



モーター部

● 修理について

本機は厳密な管理の元で製造されています。

もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。

● 保管について

次の場所には保管しないでください。

- ・お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- ・軒先など雨が降ったり、湿気のある所。
- ・直射日光の当たる所。
- ・落下の恐れがある所。

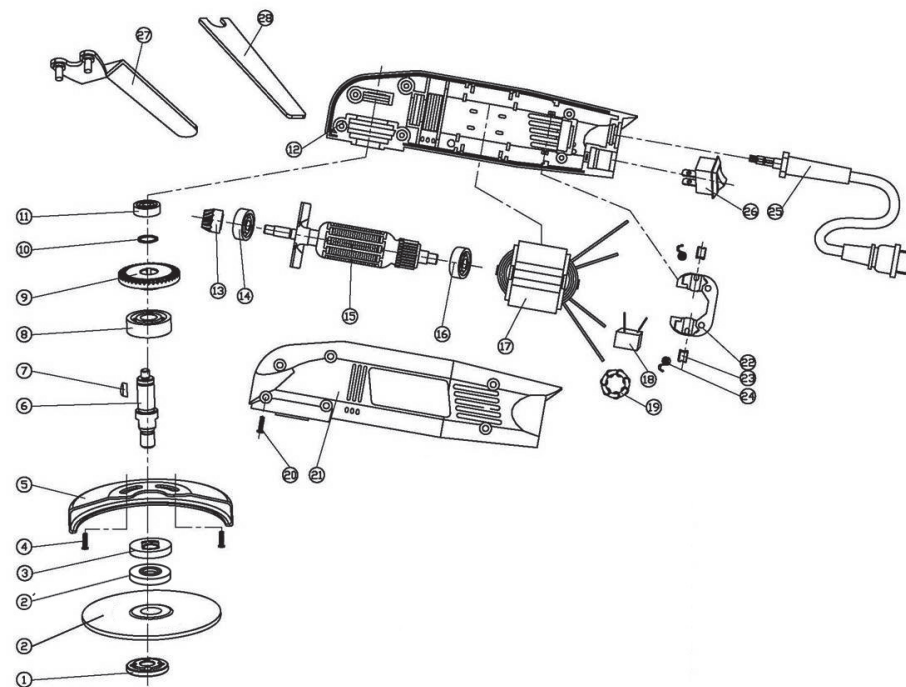
## 5. 困ったときは

### 故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症状	原因	対処
「スイッチ」をONにしても作動しない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに確実に差し込んでください
	内部パーツの不良	修理を依頼してください
	電源ケーブルの断線	
	モーター焼損	
	カーボンブラシの磨耗	
「スイッチ」をOFFにしても作動したまま止まらない	内部パーツの不良	修理を依頼してください
先端工具が固定できない	固定方法が間違っている	取扱説明書にしたがって取り付けを確認してください

### 分解図・部品表



部品番号	部品名	数	部品番号	部品名	数
1	ロックナット	1	15	アーマチュア	1
2'	修正ブッシュ	1	16	ベアリング627	1
2	ダイヤホイール	1	17	ステーター	1
3	インナーフランジ	1	18	コンデンサー	1
4	ネジ10mm	2	19	インダクタンス	2
5	ホイールカバー	1	20	ネジ18mm	6
6	スピンドルシャフト	1	21	ハウジング (左)	1
7	半月キー	1	22	ブラシホルダー	2
8	ベアリング6201	1	23	カーボンブラシ	2
9	大ギア	1	24	スプリング	2
10	ワッシャー	1	25	電源コード	1
11	ベアリング626	1	26	スイッチ	1
12	ハウジング (右)	1	27	レンチ	1
13	ピニオン ギア	1	28	スピンドル固定スパナ	1
14	ベアリング627	1			